

外苑診療所の廃止について

2016年1月

東京勤労者医療会

理事長 本間 章

外苑診療所は、1950年に設立され1978年に東京勤労者医療会と合併、現在に至っています。その歴史は65年に及び、地域住民、共同組織と共に今日まで民医連診療所としてその役割を果たしてきました。

この度、地域の医療情勢と医療供給体制の変化、神宮前地域の人口減少による医療需要の減少、医師体制の確保などを鑑み、これ以上の医療活動の発展と、経営を改善させることは困難と判断致しました。



代々木病院が責任を持って医療を継続します

2016年1月 代々木病院

院長 井上 均

代々木病院は1980年代、近代化、総合病院化、救急医療の充実を目指してきました。その後医療制度の改革や医学・医療の進歩もあり、病院の機能分担が誘導され役割分担が進んでいます。

代々木病院を含む都内中小病院の役割は、近隣の急性期医療機関と連携し回復期、慢性期の入院医療を提供、また診療所と同等の機能を果たすことも求められています。代々木病院は、2000年以降在宅支援病院として役割を明確にしました。地域の急性期病院で



外苑診療所を閉じる

ことになりましたが、今後の医療機能は引き続き代々木病院が責任を持っています。外苑診療所の医師は代々木病院に異動します。また、神宮前地域における今後の活動の在り方について検討を進めていきます。

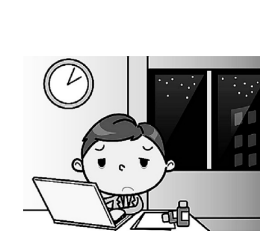
(17) 過労死につながるカフェイン依存



2015年12月21日、エナジードリンクとカフェイン錠によって20代男性が中毒死した事件が紹介され、飲み過ぎの危険性が強調されました。しかし、これはカフェインの飲み方というより、過労死問題と考えます。

男性は、ガソリンスタンドで深夜から早朝まで

勤務し、眠気覚ましとしてカフェイン150mg程度を含むエナジードリンクを1年以上飲んでいました。亡くなる1週間前からは家族に体調不良を訴え、吐くこともあったのに、仕事は休みませんでした。



エナジードリンクは清涼飲料水。炭酸を使ったさわやかな飲み口で若者に広がっています。飲料中のカフェイン量は、栄養

十分な休息がとれ、疲労が蓄積しない労働環境を作らないかぎり、悲劇は続きます。

歯周病予防

歯ブラシの選び方・使い方 —その32—

歯科医師

柳田健二

(代々木歯科)



歯周病治療には強い歯茎を

日本の国民の多くは毎日歯ブラシをしていると思いますが、日本の成人の8〜9割に歯周病が蔓延しています。歯ブラシは歯周病の治療や予防に

効果はないのでしょうか。いや、違います。多くの国民は歯ブラシについて誤解をしているのです。

虫歯予防も歯周病の治療も歯垢(しこう)をなくすこと、若しくは少なくすることが目標になります。歯周病治療のためにはそれだけでは不足で、細菌の毒素など外的な刺激に耐えられる強い歯茎(はぐき)を作ることが重要な目標となります。

歯ブラシを選ぶ時大切なのは

歯茎の治る力を引き出す

歯垢はうがいや薬、歯磨き剤では簡単に除去することはできません。必ず歯ブラシの毛先で機械的に除去することが重要なことです。

そのためには、「磨いている」と磨けているのの違いを意識して歯ブラシを使用する必要があります。強い歯茎を作るといって、強い歯ブラシでゴ

暮らしのなんでも相談会のお知らせ

★日時 2月23日(火)
13:15~15:00

★場所 渋谷駅西口
モヤイ像前にて

★相談は無料 予約は要りません。
★法律、医療、介護、生活、労働などお困りごとに、弁護士など、専門家が相談に応じます。

★渋谷社会保障推進協議会(代々木病院も参加)

＊雨天時は中止です。

＊お問い合わせ先

代々木病院 組織広報室 嘉瀬まで

03-5411-9502 (直通)

